

龍神合宿に行ってきました！！

今年も大正中部落研合宿を和歌山県の龍神村で行いました。龍神村にある合宿場を借りて生活を共にし、「龍神の水を飲んだ者は変わる！」を合い言葉に、様々な活動を行いました。3日間、どのような合宿生活を送ったか、ご覧ください！

○3年生の準備

今年も、7月に入って龍神合宿の準備が始まりました。毎年、まずは全学年の部落研メンバーが龍神合宿に参加するかどうかを決め、それを受けて3年生が3日間過ごす班を決めていきます。班長として4名が名乗りを上げ、全体部長を含む3年生9名で、どのような班にすれば頑張りがきれるか、後輩達とどのように関わっていきたいか等を出し合いながら考え抜いて、今年の班もできていきました。そこには細やかに1年生2年生の一人一人の顔を思い浮かべながら、丁寧に考えている頼もしい3年生の姿がありました。本当によく考え抜かれていて、日頃からいかに3年生たちが他学年の生徒たちとしっかり関わっているかが見て取れました。

その後は今年の龍神合宿に向けてのスローガンを考えたり、運営上の役割分担を考えたり、3日間使う日程表やマラソンの記録の集計表を作ったりなど、裏方の仕事を夏休みも使ってしっかりとやりました。作業はとてもスムーズで、今年の3年生もとても手際が良かったです。

○龍神合宿スタート！！

いよいよ龍神合宿のスタートです。台風の通過に伴い、警報が出て出発できないのではと前日までハラハラしましたが、みんなの日頃の行いで空が見方したようで、予定通り出発することができました。

到着したら、まずは全体部長から今年の龍神合宿を全員でどのように過ごしていくかという話と、3年生で決めた今年のスローガン「強く生きる ～自分と闘う 向き合う 逃げない～」が伝えられました。今年のスローガンも、合同龍神合宿スタートメンバーの名前が刻まれた扉の横で、みんなが一番目にするところに張り出されました。

そして続いて向本校長から龍神合宿がどのようにスタートしたか、その歴史が語られました。向本校長は合同龍神合宿の第一回目から参加され、扉にも名前が刻まれていました。

全員が真剣に聴き、龍神合宿がスタートしました。



○班での活動

いよいよ班での活動が始まりました。班長が中心となって、班のメンバーそれぞれがなぜ龍神合宿に参加したのかを発表し、それを元に3日間どのように過ごすか、班ごとの目標を決めました。それぞれが班で決めた目標を意識しながら、活動していきます。班目標と、班のメンバーの名前を画用紙に書き出し、みんなが一番通る廊下に張り出します。班長や3年生が中心となり、しっかりと班のメンバーの目標を聞いた上で、班目標を決めたようで、今年はじめて龍神合宿に参加した班付きの先生が今年も「勉強になる」と感心していました。

龍神合宿は3日間の全てのことを、班で協力してやっていきます。食事の準備や片付けはもちろんのこと、食事を担当してくださる先生方が一生懸命作った食事を残さないよう、班で協力しながら完食します。

また、夏休みの宿題など勉強も班で行います。先輩が後輩に教える姿なども、見て取れました。先輩が真剣に勉強に向かう姿も、班の後輩達には刺激になります。

さらに龍神合宿では、座禅も行います。夜には龍神での1日を振り返り、自分がどうだったか、先輩や後輩がどうだったかを思い返しなが、明日をどう過ごすか心を落ち着けて考えます。朝の座禅では、その日1日をどのように過ごすか考えます。龍神合宿は座禅に始まり、座禅で終わるのですが、その座禅も班ごとに座って行います。



○その他、龍神での生活

龍神合宿では身の回りのことも、すべて自分達で行います。合宿場には年代物の二槽式の洗濯機があります。22才の先生でさえその使い方を知らなかったのですが、1度使い方を教えると、自分達で協力して洗濯をしていきます。洗濯機の前に張り付いて、みんなの洗濯をする生徒も出てきて、みんなで声を掛け合っていました。

就寝の準備も、自分達で行います。シーツや布団カバー、枕カバーをキレイにかけ、寝床を確保します。普段は一緒に寝ることのない先輩後輩が「一緒に寝よ」と声をかけあったりもします。

○マラソンや、川での活動

龍神合宿では、身体もしっかり動かします。朝の座禅の後には全員でマラソンを行います。朝食前、山奥の朝の澄んだ空気の中を、全力で走ります。先生も全力で走ります。

日中には川にも入ります。修行の旅の龍神合宿ですが、みんな川に入れるのを毎年心から楽しみにしています。ですが今年は台風の影響で、川は3日間とも増水していて、危険と判断し入ることができませんでした。いつもは冷たい清流に癒やされ、焼き板を作ってお土産にするのですが、今年は残念でした。

○聴き取り

龍神合宿では、卒業生や大正中学校で働いていた先生、保護者、地域の方、その他様々な方聴き取りを行います。部落差別に立ち向かってきた姿から、様々なことを感じ取り、考えていきます。今年も様々な方から聴き取りを行いました。

1日目の夜、まずは泉教頭先生に語って頂きました。泉先生は本校卒業生で、当時の中学校や友達の話、そして一度地元を離れたが、また戻ってこようと思った話を中心に、語られました。特に自分たちの先輩がどのような様子だったか、真剣に聴いていました。

語りの後には、必ず「返し」がやってきます。龍神合宿では「返し」をととても大切にしています。返しとは語った人に対して、思ったこと考えたことを声に出して伝えていく。「返し」ていくことです。はじめて参加した生徒は緊張だったり、なんと言ったらいいのか悩んだり、時間がかかってしまいます。先輩は後輩と一緒に返す内容を考えて背中を押したり、励ましたりします。

今年も最初の聴き取りの返しにかなり時間がかかったのですが、泉先生もじっくり待ってくださり、3年生を中心にしっかり声かけを行って行くことで、返すことができました。返しの言葉の中にも、みんなの思いや考えがよく表れていました。



2日目の朝は、3年生からの発信です。

3年生は、「龍神合宿で語るっていうのは、こういうことなんやで」と後輩に伝えるために、全体の前で語ります。

今年は2人の3年生が、全体の前で語りました。人前で話すことが本当に苦手だった自分が今、こうしてみんなの前で語れているということ、家族のこと、自分のこと。普段の明るい楽しい面白い先輩とは全く違う、真剣に語る姿から、多くのことを後輩に伝えました。その姿を受け、「先輩、すごいな」「自分もがんばる」という後輩達の姿が見られました。

メインの判別ミーティングに繋がる、3年生からの発信になりました。



2日目の昼には卒業生が3名来て、語ってくれました。

まずは、西元さん。次に、佐伯くん。そして、仲川さん。それぞれが、高校でのことや、家族のこと、友達のこと、勉強のことなど、中学生の間にたくさん思い悩んで仲間と共に乗り越えてきたことを語ってくれました。

卒業生として来てくれた3人は、それぞれ班に入り、様々な場面で話を聴いたり声をかけたりして、過去に龍神合宿で自分が先輩に教えてもらった事を伝えてくれました。



○そして班別ミーティングへ・・・

龍神合宿では、2日目の夜に行う班別ミーティングを一番大切にしています。そこでは1人1人が自分の抱えていることや、思いや考えを語ります。

今年もどの班もすごくしっかりと班別ミーティングができたようで、合間の休憩の時に各班の班長が目を輝かせながら「心配してた1年生のあの子、一番に語って返しめっちゃ頑張ってるで」と嬉しそうに報告しにきたり、「めっちゃ返しとかも出てきて、すごい濃い話ができるで」とすごくいい顔で報告しにきたりしました。

どの班も、しっかり語りきり、返しきりました。

○最後のまとめ

最終日には全員の前で、それぞれ3日間どうだったかと、今後の決意表明、班長からは3日間班がどうだったか、目標は達成されたかを話します。3日間龍神の水を飲んで変わった姿を、しっかりと全員の前で話す姿を、見ることができました。

また、班付きの先生方も一言ずつ話したのですが、どの先生も、「今年の3年生もよく班を引っ張ってくれていた」「3年生みんな凄い」と言っておられました。

そして最後の食事の時に、食事班の先生にみんなで「3日間、板間にずっと立ちっぱなしで足をパンパンにしながら、わたし達に美味しいご飯を作ってくださいありがとうございました。」とお礼を言いました。

感謝しながら、最後の食事もおいしくいただきました。



3日間龍神合宿、全員でやりきりました！！
みんな、お疲れ様でした！！！！



2019. 7 / 27 ~ 7 / 29

(文責：松浦)